

# うえだ広域

上田地域広域連合広報紙 2003年11月



上田地域広域連合議会10月定例会 P2  
平成14年度決算状況 P3  
地域のごみ問題を考える P4・5  
介護保険について P5  
マイカル社債購入について P6  
広域おしらせ掲示板 P7  
さあ、イベントへ出かけよう! P8

## 一本のたすきに思いを込め ともしびの里を力走!

10月26日(日)木々の紅葉が深まるともしびの里(武石村)において第18回上田市・小県郡市町村対抗駅伝大会が開催されました(第14回ともしびの里駅伝大会同時開催)。一般の部(8チーム)と小中学生の部(5チーム)に分かれ、選手は市町村の代表として健脚を競い合い、沿道からは大きな拍手と声援が送られていました。



発行 上田地域広域連合  
386-0025 長野県上田市天神2-4-55 TEL0268-23-2130 FAX0268-26-8980  
<http://www.area.ueda.nagano.jp/> E-mail:koiki@area.ueda.nagano.jp  
(検索サイトで「上田地域広域連合」と入力していただいても当広域連合のホームページがご覧になれます。)  
印刷 有限会社 大和印刷

# 広域連合議会10月定例会が開催されました。

## 開催されました。

平成15年10月上田地域広域連合議会定例会は、10月28日に招集され、10月31日までの4日間の会期で開かれました。

今定例会は、広域連合の平成14年度決算認定(11件)をはじめ、平成15年度補正予算等、合計18件の

議案が提出され、所管の総務常任委員会及び保健福祉常任委員会にそれぞれ付託され、審議されました。

提出された議案は、最終日の本会議において、全

て原案のとおり可決、認定または承認されました。

議決された主な議案についてお知らせします。

### 平成14年度決算認定について

平成14年度一般会計及び各特別会計(10会計)決算認定について、所管の委員会にそれぞれ議案付託され、すべて原案のとおり認定されました。

なお、決算状況については、3ページに掲載してありますので御覧ください。

### 平成15年度補正予算

消防、介護保険、清浄園、クリーンセンターの各特別会計補正予算が原案のとおり可決されました。

### 報告

承認された報告事項は、次のとおりです。

### 陳情

専決処分した上田中央消防署水槽付消防ポンプ自動車の購入の承認について  
専決処分した真田消防署高規格救急自動車の購入の承認について  
専決処分した依田窪南部消防署小型動力ポンプ付水槽車の購入の承認について

平成15年5月広域連合議会臨時会において、継続審査とされていた陳情(9件)について審査を行い、本会議において、継続審査として議決されました。

上田地域広域連合統合「こみ処理施設「神の倉工業団地」への建設計画絶対反対に係る陳情 ほか8件(陳情主旨内容同様)

### 副広域連合長の再任

武石村及び坂城町の、町村長選挙に伴い、平成15年5月広域連合議会臨時会において、副広域連合長が再任されました。(敬称略)

下村 聖(武石村長)  
中沢 一(坂城町長)

### 上田地域広域連合議会議員の交代

上田市、丸子町、武石村及び坂城町における、議会議員選挙に伴い、選出議員の交代がありました。

また、青木村においては、議会の申し合わせにより、選出議員の交代がありました。

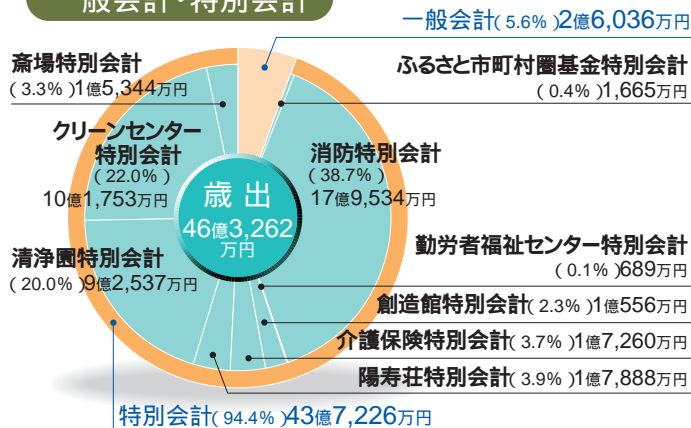
これを受け、平成15年5月広域連合議会臨時会において新たに議長及び副議長が選挙され、また、各常任委員会の構成が決まりました。(敬称略)

議長 長 宮下 昭夫(上田市)  
副議長 長 森田 繁良(長門町)  
議会代表者会

座長 土屋 陽一(上田市)  
田中 正雄(上田市)  
丸山 正明(上田市)  
片桐 久(丸子町)  
森田 繁良(長門町)  
柳橋 勝(東部町)  
佐藤 公至(真田町)  
木下 憲治(武石村)  
小川 純夫(和木村)

# 平成14年度 上田地域広域連合 決算状況

## 一般会計・特別会計



## 歳出決算額

会計名	歳出決算額	割合
一般会計	2億6,036万円	5.6%
ふるさと市町村圏基金特別会計	1,665万円	0.4%
消防特別会計	17億9,534万円	38.7%
勤労者福祉センター特別会計	689万円	0.1%
創造館特別会計	1億556万円	2.3%
介護保険特別会計	1億7,260万円	3.7%
陽寿荘特別会計	1億7,888万円	3.9%
清浄園特別会計	9億2,537万円	20.0%
クリーンセンター特別会計	10億1,753万円	22.0%
斎場特別会計	1億5,344万円	3.3%
(特別会計合計)	43億7,226万円	94.4%
総計	46億3,262万円	100.0%

## 主な支出

- 一般会計
  - 図書館情報ネットワーク事業 .....5,093万円
- 特別会計
  - ふるさと市町村圏基金特別会計
    - 上小スポーツレクリエーション祭委託事業 .....300万円
    - 上田地域観光プロモーションDVD制作 .....152万円
  - 消防特別会計
    - 上田中央消防署災害対応特殊救急自動車購入...2,819万円
    - 丸子消防署災害対応特殊消防ポンプ自動車購入...2,573万円
  - 勤労者福祉センター特別会計
    - 勤労者福祉センター管理委託事業 .....687万円

- 創造館特別会計
  - 創造館管理委託事業 .....9,242万円
- 介護保険特別会計
  - 要介護認定調査業務委託事業 .....1,484万円
- 清浄園特別会計
  - 乾燥焼却設備修繕 .....3,150万円
- クリーンセンター特別会計
  - 上田クリーンセンター送風機修繕 .....840万円
  - 丸子クリーンセンター焼却灰一時貯溜場設置工事...305万円
- 斎場特別会計
  - 火葬炉等施設修繕 .....1,035万円
  - 大星斎場霊柩車購入 .....362万円

## 歳入決算額

区分	歳入決算額	割合
分担金・負担金	42億3,491万円	87.8%
使用料・手数料	2億9,971万円	6.2%
国庫支出金	1,917万円	0.4%
県支出金	2,400万円	0.5%
財産収入	2,157万円	0.5%
寄附金	0万円	0.0%
繰入金	165万円	0.0%
繰越金	1億6,848万円	3.5%
諸収入	2,340万円	0.5%
地方債	3,050万円	0.6%
歳入合計	48億2,339万円	100.0%

諸収入(0.5%) 2,340万円

地方債(0.6%) 3,050万円

繰越金(3.5%) 1億6,848万円

国庫支出金(0.4%) 1,917万円

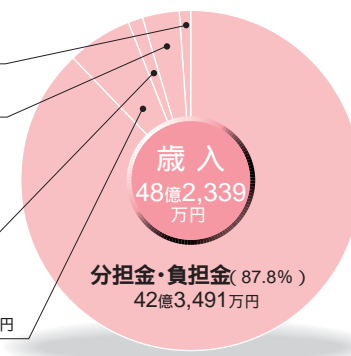
県支出金(0.5%) 2,400万円

財産収入(0.5%) 2,157万円

寄附金(0.0%) 0万円

繰入金(0.0%) 165万円

使用料・手数料(6.2%) 2億9,971万円



## 企業会計

上田地域広域連合では、徳寿荘特別会計が企業会計となっています。  
平成14年度の決算額は、歳入3億1,784万円、歳出2億8,904万円となりました。

議員(議会議員)に土屋陽一議員(上田市)が選任されました。

監査委員(議会議員)の選任について

議会議員の改選に伴い、監査委員(議会議員)に土屋陽一議員(上田市)が選任されました。

副委員長

委員

丸山 正明(上田市)

柳橋 勝(東部町)

足立 誠(上田市)

南波 清吾(上田市)

成田 守夫(上田市)

土屋 陽一(上田市)

藤原 信一(上田市)

久保田 由夫(丸子町)

柳沢 司子(丸子町)

竹之内 健次(長門町)

佐藤 公至(真田町)

新井 繁雄(武石村)

内田 和典(和田村)

古見 正八郎(青木村)

池田 一重(坂城町)

保健福祉常任委員会

柳沢 昌雄(坂城町)

上原 昌雄(坂城町)

小川 純夫(和田村)

木下 憲治(武石村)

中澤 盛雄(真田町)

田中 金吾(東部町)

堀中 高明(東部町)

森田 繁良(長門町)

高遠 和秋(上田市)

南雲 典子(上田市)

茅野 光昭(上田市)

田中 明弘(上田市)

武藤 弘久(丸子町)

片桐 正雄(上田市)

田中 正雄(上田市)

総務常任委員会

柳沢 昌雄(坂城町)

上原 昌雄(坂城町)

# 『地域のごみ問題を考える』

## 「ごみをどこまで減らせるか」

### パネルディスカッション 「ごみの減量と施設建設」

コーディネーター

松田美夜子さん(富士常葉大学助教授)

パネリスト

藤吉秀昭さん(日本環境衛生センター)

鍋島淑郎さん(元玉川大学工学部教授)

栗田たか子さん(上田市ごみ減量アドバイザー)

母袋創一(上田地域広域連合長)

8月24日(日)、上田創造館で『地域のごみ問題を考える』講演会・パネルディスカッションが開かれ、ごみの減量化における、住民や行政、事業者の役割などについて、熱心に議論されました。



ければ店頭から消えるはずですが、消費者が作る側、売る側に発信していく必要があります。

【藤吉】生ごみの堆肥化は、ヨーロッパでは、畜産と一緒に小さなスケールでやってきた歴史があり、現在も積極的に取り組んでいます。ですが、やはり臭いの問題があります。

【松田】水俣市では、ガス化溶融炉の導入に併せ、紙や生ごみの分別を徹底したことで、焼却量がかなり減ったようです。ドイツではICTチップを利用して、「量と嵩」から計算して、ごみ処理経費を負担してもらおうシステムが広まっているようです。個人が減量化に取り組むとともに、社会的なシステムも必要です。



【母袋】行政としては、リサイクル商品の購入に努め、公共事業でリサイクル製品を使用することなどが重要です。また、商工業における「地産地消」ということも意識しています。

【栗田】事業系ごみを、安易に焼却に回さないように、行政がリーダーシップをとってほしいと思います。

【松田】「循環型社会形成推進基本法」では、「拡大生産者責任」と「排出者責任」ということが明確にされ、生産者にはリサイクルの責任、消費者には処理費用の負担が求められています。

【松田】ごみの減量を図ってもやはり廃棄物が出てきます。それをどのように処理していけばよいのでしょうか。

【鍋島】焼却処理などは、中間処理といわれ、減量化、無害化、資源化という役割を持っていきます。特に限りある資源を循環利用する必要があります。ごみの中から貴重な重金属を取り出し、鉱山へ返す「山元還元」ということも検討されています。

【藤吉】ごみ処理は地域の実情により違つた

で、減量化の方法をどのようにするか、その上で焼却など処理方式を、市民の意見も踏まえて決定されるとよいでしょう。

ダイオキシン、重金属、スラグ(灰の溶融により、砂状に減容固化されたもの)などの安全性の問題がありますが、国でも研究され対策がされていますので、行政は安全性について、分かりやすく市民に伝えなければいけません。

【松田】技術開発も進んでいます。作る段階での企業責任がきちんと果たされる中で、住民がごみの減量対策をして、施設建設についても、皆さんが自分の問題として考えていただきたいと思っています。

【鍋島】ごみ処理施設は、技術、管理、教育という3つの柱により安全性が確立されます。新しい技術も次第に完全なものになると思います。

【栗田】ごみの減量を一生懸命している中で、まだこれだけ焼却ごみが多く、施設が必要だという危機感を、一人ひとり感じてほしいと思います。

【松田】住民が中心の活動に行政が参加していくような、まちづくりの一環としてごみの減量であり、施設建設であればよいと思います。

【母袋】ごみゼロ社会を達成するためには、まず、地域全体での意識の高まりが必要です。行政としては、循環の輪を広げるために、リサイクル商品を積極的に利用し、コストを下げることも必要です。施設整備については、従来の施設と最新の技術とをよく検証し、最終処分までを地域内で行っていく努力も必要だと思っています。



【松田】空気のきれいなこの地域で、ごみを出さない、出されたごみを適正に処理、管理していくモデルケースができればと思います。

【松田】上田地域広域連合でもごみ処理施設の建設計画があるようですが、「循環型社会形成推進基本計画」では、12年度実績に対して22年度までに、20パーセント減量する目標が計画されました。この計画に沿った施設整備計画でないと、国庫補助は受けられません。

【母袋】20パーセントという目標は、かなり厳しいものですが、施設建設には、国庫補助が必要ですので、市町村レベルで、住民の皆さんと目標達成に向けて、さらに努力する必要があります。

【松田】この地域で、ごみの減量を図るには、何を減らせばよいのでしょうか。



【鍋島】上田、丸子及び東部クリーンセンターは、施設建設時と比べ、非常にごみ質が高い、つまり



【栗田】家庭でのごみの減量は、「持ち込まない」ことが第一原則です。ペットボトル商品を買わな

紙・プラスチック類が多くなっています。一般的には、生ごみを減量すると非常に効果がありますし、併せて、紙・プラスチック・剪定枝の資源化に取り組む必要があります。



かつて、ごみといえば生ごみを中心でした。日本は高温多湿で物が腐敗しやすく、生ごみを放置すると公衆衛生の悪化や伝染病の元になるため、歴史的に焼却処理を非常に重視してきました。このため、明治期からごみ処理を市町村の責務として、全国に焼却施設を造ってきました。焼却技術が低い頃は、施設からすすや臭いが出て、周辺に迷惑をかけてきましたが、最近、臭いやダイオキシンなどに対しては、技術的にはほぼ完全な対策がされています。

今までのごみ処理は、ものの生産から最終処分まで、一方向の流れで、常に最終処分場を必要とするものでしたが、地球規模で持続可能なごみ処理のあり方が議論されている中で、リサイクルによる物質回収の輪を広げたり、「循環型社会形成推進基本法」のように、製造者責任を求めていく法律が整備されたりと、循環型社会を形成するための施策が推進されています。

ヨーロッパや日本などでは、最終処分量を減らし、あるいは廃棄物を資源として捉え、焼却灰を溶融して再生利用しようという研究がされてきました。ヨーロッパでは、地球温暖化の時代に、灰を溶かすことは、余分なエネルギーを使い、非効率なので、灰を一定期間

保管(エージング)して、道路の路盤材等に再利用する方法をとっています。

一方、ごみの持つ熱エネルギーを利用して一気に高温で溶かすほうが効率的であるということで、ガス化溶融炉が開発されてきました。ガス化溶融炉は、焼却灰等を無害化、資源化できる、ダイオキシンの発生抑制ができる、発電効率が高い、という3つの大きな特徴を持ち、日本ではダイオキシン類の排出規制の強化に伴い、全国各地で50基以上のガス化溶融炉が稼働しています。

ガス化溶融炉は、ごみを1,400以上で溶融することにより、ダイオキシンの発生を抑制し、排ガス処理工程では、200以下に急速冷却することにより、ダイオキシンの再合成を抑えることができます。また、高温溶融による重金属の飛散についても、ダイオキシン対策により対応でき、心配ありません。

ヨーロッパでは、日本のように手厚い補助金制度がないため、広域で集約して効率的に運営することを徹底しています。日本でも、公害防止を高いレベルで確保し、施設の建設や運営を効率的にするため、100~200トン規模に集約し、資源化やエネルギー回収をしながら、周辺環境や事故に対して安全な施設を整備することが、代表的な施設整備の方向になるでしょう。

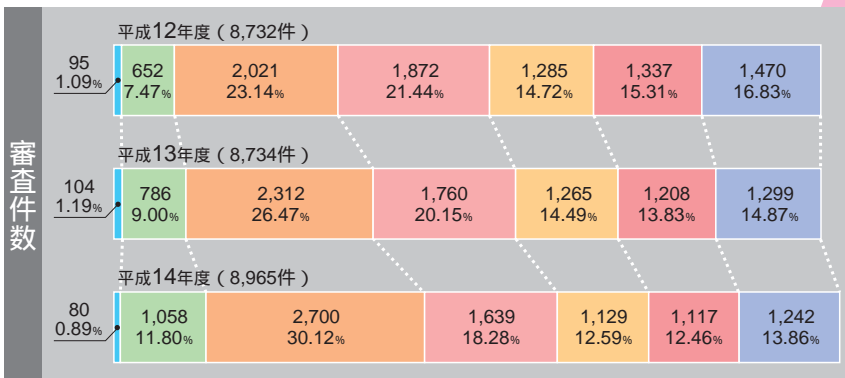


500人以上の地域住民のかたが参加されました。

## 介護保険

上田地域広域連合では、公平で公正な審査を行うために、上小地域の介護認定調査と介護認定審査会を共同で行っています。

1 平成12年度から平成14年度までの要介護度の状況は左記のとおりです。



審査件数は年々増加しています。また、要介護度別では、要支援、要介護1の割合が増加傾向にあります。

要支援・要介護の状態の目安	介護度	状態
要支援・要介護の状態の目安	非該当(自立)	外出でき、身の回りのことは一人できる。
	要支援	身の回りのことはだいたいできるが、入浴などに一部介助が必要
	要介護1	歩いたり、座ったりすることが不安定 トイレや入浴など一部介助が必要
	要介護2	立つことや歩くことが一人では困難 トイレや入浴に介助が必要
	要介護3	歩行ができない。トイレ、入浴、着替えに全面的介助が必要。痴ほうによる問題行動がみられる。
要介護4	トイレ、入浴、着替えなど多くの行為において全面的介助が必要で、問題行動が増えてくる。	
要介護5	生活全般に全面的介助が必要 問題行動が多くみられる。	

これは、あくまでも目安であり、介護度と状態が合わないケースもあります。

### 2 老人福祉施設建設に向けて

上田地域広域連合では、老人福祉施設建設推進委員会の最終報告を受け、特別養護老人ホーム「徳寿荘」と養護老人ホーム「陽寿荘」を丸子町のカネボウ跡地に民設民営により設置運営するため、プロポーザル方式(提案方式)による公募を行ったところ、以下の3法人から応募がありました。

現在、上田地域広域連合内に「特別養護老人ホーム等整備事業 事業予定者審査委員会」を設置して、社会福祉法人3法人から提案のあった施設の運営方法等について書類審査等を行っています。

結果については、広域広報紙16年3月号でお知らせします。

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 応募のあった社会福祉法人 | 社会福祉法人 敬老園 (上田市) |
| (五十音順)       | 社会福祉法人 大志会 (千曲市) |
|              | 社会福祉法人 大樹会 (青木村) |

# ふるさと市町村圏基金における マイカル社債購入問題の 経過と今後の予定

## 更生計画案における弁済内容

会社更生法による経営再建を進めていた更生会社「株式会社マイカル」は、6月30日に更生計画案を東京地方裁判所に提出し、受理されました。この更生計画案では、当広域連合が購入した第26回無担保社債の弁済率は30パーセントと示されました。

更生計画案の特徴としては、まず、債権額の区分により弁済率に差をつける「傾斜漸減方式」を採用し、小口債権者を優遇している点、また、「社債に関する特別」を設け、社債権者一人当たりの平均保有額により弁済率を算出している点があります。

当広域連合は、債権額による区分では本来大口債権者に該当しますが、この「社債に関する特別」によって小口債権者に区分されたことから、30パーセントの弁済率が適用されました。

## 社債権者集会

これに続く会社更生手続きとして、更生計画案に対する社債権者の賛否を問う「社債権者集会」が、社債の発行回号別に14回開催されました。

当広域連合が保有する第26回無担保社債に関しては、9月2日に同集会が開催され、採決の結果、大半の社債権者（議決権総数の約96パーセント）が更生計画案に賛成の意を表し、「関係人集会において、共同社債管理会社が更生計画案に賛成の議決権

を行使する」ことを内容とした議案が可決されました。

この社債権者集会に臨むに当たり、更生計画案で示された弁済率が、過去の破たん例や今回の更生計画案における債権者全体の平均弁済率に比較して高率であること、また、この更生計画案が認可されずに破産手続きに移行した場合、弁済率が極めて低率となるなど、より悪条件の弁済率になる可能性が高いこと、更生計画案に反対の意思表示をすることが弁済率の引き上げや早期の弁済に結びつくとは考えにくいことなどを助案した結果、当広域連合としては、会社更生手続きに対して現実的に対応することとはやむを得ないと判断し、更生計画案に賛成する議決権を行使しました。

この方針は、関係市町村及び広域連合議会と協議し、了承されたものです。なお、14回開催された社債権者集会のうち、12の社債権者集会において、前述の議案が可決されています。

## 関係人集会

会社更生手続きの最終段階として、9月30日に「関係人集会」が開催されました。これは、社債権者以外の債権者も出席して更生計画案を可決するか否かを審理し、議決する集会です。

ここで更生計画案は87パーセント以上の同意率で可決され、同日、東京地方裁判所により認可決定されました。これにより会社更生計画は確定

し、当広域連合が保有する社債券額2億円に対する弁済額は、利息等を含み合計6121万2000円と確定しました。また、弁済時期は更生手続き認可日から3か月以内とされており、年内には一括して弁済支払い（される見込みです）。

## 基金欠損分の取り扱い 及び今後の予定

会社更生計画の認可決定により確定しました基金の損失分の取り扱いにつきましては、これまで、総務省及び長野県とも協議を続けてまいりましたが、10月31日に開催された広域連合議会全員協議会において、「損失分については全額欠損扱いとし、関係市町村からの新たな負担による基金の復元は行わないこと」としたい。との基本的な考え方を示しました。

今後の対応につきましては、基本的な考え方を基に広域連合議会及び関係市町村議会に具体的にお諮りしながら、進めてまいりたいと考えております。

なお、広域連合では、こうした問題が起きたことを深く反省し、体制の整備や事務処理の改善を行ってまいりましたが、現在展開している広域市町村圏の振興整備のための各種ソフト事業について、より効率化を図り充実させていく努力をすることにも、弁済金につきましては、安全確実な運用に努めてまいります。

住民の皆様には大変な御心配をおかけしているところですが、今後も随時、広域連合のホームページ等で状況をお知らせしますのでよろしくお願いたします。

## 年末年始の休業について

上田地域広域連合で管理運営を行っている施設の年末年始休業は、次のとおりです。

上田創造館

12月29日から16年1月3日まで  
(上田市の住民票等自動交付機につきましては29日・30日利用可能です。)

勤労者福祉センター

12月29日から16年1月3日まで  
クリーンセンター

(上田)12月31日から16年1月4日まで  
(丸子)12月30日から16年1月4日まで  
30日は収集を行います。

(東部)12月28日から16年1月4日まで  
清浄園

12月30日から16年1月4日まで  
12月27日(第4土曜日)は操業します。

大星斎場

12月31日正午から16年1月2日正午まで  
依田窪斎場

12月31日から16年1月3日まで

## 灯油漏れ事故防止のお知らせ

ストーブなど暖房器具を使用する季節になり、ホームタンク等から灯油などが漏れる事故が毎年多く発生しています。灯油などの取り扱いに注意し、油漏れ事故をなくしましょう。

### 油漏れ事故防止のポイント!

#### 点検

- ・ホームタンクが固定されているか点検しましょう。
- ・ホームタンクが傾いていないか点検しましょう。
- ・バルブ、配管に亀裂や漏れがないか点検しましょう。

#### 危険物取り扱いの注意点

- ・灯油をホームタンクからポリタンク等に小分けにする際は、その場を離れないようにしましょう。



- ・バルブ、コックを完全に閉じるとともに、閉じていることを必ず確認しましょう。
- 事故発生時の対応について**
- ・消防署へ速やかに通報してください。
- ・流出事故時には、応急処置として側溝や河川への流入防止を心がけてください。
- ・火気の使用はしないでください。

平成15年度全国統一防火標語

「その油断 火から炎へ 災いへ」

上田地域広域連合消防本部

予防課 電話(0268)26-0029

# 広域おしらせ 掲示板

## 第8回 上田・小県映像祭 作品大募集!!



第7回最優秀賞 朝景（小川絵氏）

### テーマ「ふるさと再発見」

上田・小県地域の身近な自然や風景・町並み・伝統行事など、日常生活や年中行事の中で再発見したアングルや、感じた事柄を写真にした作品を募集します。

#### 応募方法

平成16年1月13日(火)～2月13日(金)までの間に上田地域広域連合事務局(〒386-0025 上田市天神2-4-55 TEL23-2130)へ郵送してください。(当日消印有効)

選外作品返送希望者は返却用封筒(切手添付、郵便番号、返却先を明記)を応募作品に同封してください。

募集資格 どなたでも自由に応募できます。

(応募点数に制限はありません。)

#### 応募写真

写真のサイズはカラ・プリント四つ切(25.4cm×30.5cm)とします。(ワイド四つ切は不可です。)

本人が撮影し、未発表のものに限ります。

作品の裏面には住所、氏名、年齢、電話番号、作品名、撮影年月日、撮影場所を記入した「応募票」を必ず添付してください。(自作も可)入賞作品については、入賞通知があってから1週間以内にネガを提出してください。(ネガの提出のない場合は入賞を取り消します。)入賞・入選作品とそのネガはお返ししません。入賞・入選作品の版權は主催者に帰属します。

#### 発表と展示

入賞者には郵便で通知します。

入選作品は、上田地域広域連合広報紙で発表するほか、ホームページなどにも掲載します。また、平成16年3月12日(金)～

### 独身男女交流会事業

## 「ラストシングルX'mas」

日時 平成15年12月20日(土) 14:00～19:30  
会場 ブライダルホール「ラ・ヴェリテ」(東部町田中)  
内容 自己PRタイム、ボーリング、立食パーティー  
募集人数 独身の男女2人1組で各15組(各30人)  
参加対象 25歳以上40歳以下の男女  
ただし、男性は上田・小県地域に在住していること。  
参加費 男性：2人1組で10,000円 女性：2人1組で6,000円  
申込方法 11月25日(火)から電話で申し込み受付をします。  
(9:00～17:00の平日のみ受付)  
必ず2人1組での申し込みとし、ご本人同士または、どちらか代表のかたご本人のお申し込みとします。  
なお、代表のかたがお申し込みの場合は、ご自分と、もう一人のかたの氏名、年齢、住所、電話番号をご確認のうえお申し込みください。

#### 申し込み・問い合わせ

独身男女交流会事業実行委員会事務局  
上田地域広域連合事務局企画課内 TEL 0268-23-2130  
主催 独身男女交流会事業実行委員会  
(上田地域広域連合、上田地域8市町村、上田地域8社会福祉協議会、JA信州うえだ)

3月14日(日)まで上田創造館において展示・公開します。

上田地域広域連合ホームページアドレス

<http://www.area.ueda.nagano.jp>

#### 審査と表彰

主催者が委嘱する専門家が行い、入賞作品に賞状、賞金、盾を贈ります。

最優秀賞 1人 賞状 賞金3万円、盾

優秀賞 2人 賞状 賞金2万円、盾

入選 8人 賞状 賞金1万円、盾

奨励賞 10人 賞状、盾

問い合わせ 上田地域広域連合事務局企画課

上田市天神2-4-55 TEL0268-23-2130

### し尿投入手数料及びし尿くみ取り料金の改定答申について

広域連合では、清浄園の適正な維持管理を行うため、清浄園手数料等検討委員会へし尿投入手数料及びし尿くみ取り料金の改定について諮問しましたところ、下記のとおり答申がされました。

なお、し尿くみ取り料金は、清浄園への投入手数料改定分に連動して引き上げられるものです。

手数料等の改定につきましては、答申を尊重し、平成16年2月の広域連合議会に係る議案を提案したいと考えております。

答申内容	現行	答申
し尿投入手数料 1 10キログラム当たり	5円	9円
し尿くみ取り料金 2 (消費税別)18リットル当たり	160円	168円

改定の時期は、平成16年6月1日とすることが適当である。

- 1 収集業者が清浄園へ運搬した、し尿等を処理するための手数料
- 2 収集業者が各家庭から、し尿等をくみ取るときの料金

### 第8回 上田・小県映像祭応募票

作品名	
名前(年齢)	ふりがな ( 歳 )
住所	〒
電話番号	
撮影年月日	
撮影場所	
備考	

12

- 上田駅お城口再開発ビル竣工式
St.Media Xmas2003
キャンドルクラフトセミナー
室賀温泉もちつき体験・大会
幻想(きらめき)冬紀行
子供神楽引き

Jan 1

- 元旦マラソン大会
元旦マラソン
獅子舞
八日堂縁日
市民の森スケート場祭り
おたや祭り
おたやまつり

Feb 2

- アイスカンドル祭
節分会
わら馬ひき

3

- 湯の丸スキー大会
シュナイダー記念スキー大会
根子岳・四阿山を巡るスキートレッキング
番所ヶ原GSL記録会
すいせん祭り

スキー場開き
花火大会
カウントダウン花火大会
おたや祭り花火大会

問い合わせ先

- 上田市役所
丸子町役場
長門町役場
東部町役場
真田町役場
武石村役場
和田村役場
青木村役場
坂城町役場

凡例
ここに掲載した催し物などはほんの一部です。詳しくは、市町村広報紙を御覧になるか、左記までお問い合わせください。

上田創造館の催し物ご案内

申し込み・問い合わせは

【上田創造館】〒386-1102 上田市上田原1640番地 TEL 23-1111 / FAX 24-4100

体験

- 冬の星座をさがそう
太陽の黒点を観測しよう
たこつくり
モーターを使った工作
折り紙教室
電気工作

展示

- 第17回上小地域小中学校児童生徒作品展
「凧」展
「上田・小泉絵手紙展」

上田創造館パソコン教室

全コースとも定員26人 参加対象者16歳以上
パソコン教室については、はがきでの申し込みもできます。

1月

- エクセル初級 住所録(表)作成教室
パソコン入門 平日コース
特別セミナー Auto CAD体験教室
表計算ソフト エクセル(基本)週末コース
ワープロソフト ワード(基本)平日コース

2月

- パソコン入門 平日コース
はじめてのデータベース アクセス入門 週末コース
ワープロソフト ワード(応用)夜間コース
ワード初級 表(罫線)入りの書類づくり

3月

- パソコン入門 平日コース
特別セミナー エクセル&ワード 週末コース
表計算ソフト エクセル(応用)週末コース
ワード初級 表(罫線)入りの書類づくり

特別イベント

親子パソコン教室
「オリジナルカレンダー作り!」
参加対象は5歳以上の子どもとその保護者 18人 無料